

平成 28 年度経営評価委員による年度末評価での意見・要望等	平成 29 年度以降に向けた取組み等
<p><b>1 経営全般、研修事業について</b></p> <p>○様々な工夫をしていただいている中ではあるが、若い教員の不祥事や、メンタルの不調が報告されている。「緊急対策会議」と連携をはかりながらも、多忙化の中で教員が前を向けるような方策を、研修でも研究でも取り入れていただきたい。</p> <p>○若い教師の不祥事が複数起きました。初任者研修やフォローアップ研修、または新採管理職研修における研修内容にも反映させていく必要があると思います。教育公務員の自覚やサービスの理解をより具体的に扱っていく必要を感じます。もちろん教職員室や教育センター及び教育事務所との検討の中で進められていくことと思いますが、対策の必要性があります。</p> <p>○教員の不祥事防止のための初任研や 2、3 年目研修についてお願いしたい。SNS を含めた公私の区別や不祥事が起きた時の学校の様子、該当職員の処分や家族の様子もリアルに伝えていただきたい。その上で意見交換をお願いしたい。</p> <p>○小学校での、学習意欲や能力のやや高い児童（上位層）を伸ばすための講座を開設してほしい。</p> <p><b>2 研究事業、相談・支援事業について</b></p> <p>○通常学級在籍の特別な支援が必要な児童生徒が増えている状況を受けて、WISC-IV などによる検査や診断ができる教職員を増やすような養成システムの構築と講座の開設をお願いしたい。</p>	<p>○平成 28 年度より実施している教職 2 年次フォローアップ研修では、選択研修が 2 回実施されていますが、平成 29 年度からはそのうち 1 回を悉皆研修として、教育公務員としての服務について、事例を通じた研修を行います。さらに、同日、採用 2 年目の教員としての課題や悩みについて語り合える場を設定し、支え合える関係を作っていくことができるようにします。</p> <p>○平成 29 年度から、小・中・特・高すべての校種の悉皆研修（経験者研修）において、「情報セキュリティポリシーと ICT 機器の活用」の講座を新規に設定し、ICT 機器使用時に留意すべきことについての講義・演習を通じて、理解を深めます。</p> <p>○教科等における探究型学習の授業づくりを主眼とした講座「探究型学習推進講座Ⅱ」を各教科毎に新規に設定し、実践的指導力の向上を図ります。</p> <p>○センター独自で WISC-IV の研修会を行うことは難しいのですが、義務教育課特別支援教育室での特別支援学校人材育成事業として、WISC-IV 講習会への派遣と検査用具購入の支援を毎年各支援学校に行っています。</p>

○特別支援学級担任が毎年のように変わる場合が大変多い状況下、なかなか「育成」までには至らないのではないかと危惧しています。教育庁義務教育課と連携して、各小、中学校長に対して、「特別支援学級担任が頻繁に変わる」状況と、そのことにより特別支援学級における教育の充実が妨げられている状況があることについて説明していただくとともに、特別支援学級担任育成の必要性についてご理解いただく機会を是非設けていただきたいと思います。願っております。

○今年度、特別支援教育課の研究成果物として「特別支援学級における授業の充実～知的障がいのある子供の指導～」を作成しています。これは、知的障がい特別支援学級担任に向けて、子供の実態に合った学習内容を考える際の3つの観点を「子供の姿と授業をつなぐ“かがやき”シート」として示したものです。3月末にはWebページにアップし、センターでの特新担の講座の中で使用していく予定です。また、出前サポートの際にも、この「子供の姿と授業をつなぐ“かがやき”シート」をもとに指導・助言にあたっていきます。

※以上のほかにも、経営評価でいただいた御意見（「平成28年度経営評価委員による年度末評価」）を踏まえ、今年度の経営を進めます。